部に慈の研究権を賜ひつく同

は二角靴下の第一両弾立件所に

大演員の毎は閉された 陛下に

香四體相、二毛、下元 州軍捐

長宮殿下を始め寄り各身族院下

た出拝承する、次いで開売幕隊 く組み御歌説あり、疾父宮殿下

より大道器の価物語あらせられ

当に召され機能の山野に肚然な

大曹戦を展開する南地の戦闘

高らかになりひょく個戦ラッパ

R.断薄にて、こゝとり 研愛場白

側領廷の個模様に群せられた、

午後一時再び大本營部出門司

4 画別講演を開石された後

十分世界第二十五碳酸の講評場

由本邊備出兵中國、惟有巡役此

加連日惠天候の中に御歌踊あら 御官一間に跡を賜った、それよ

同是歐州史記念館に臨僻、午後

消傷に成らせられ一間と共に記

外交融険に欠りいりに即即住を加った総立の経際形の働きる思っに相「戦後として港目されてある」、「東京港市」を確認して設立、定して、上なり、日本で、大阪石油線定の解決に加って日本、保証工工版を可要なるものである。 もに乗り蘇聯那の景日外交の一大間の二大陸地区をに解決と加って日本、保証工工版を可要なの観音を開きていませば、大阪・工工工版に経費協和を表明し、発見人にはこれを取出を決つる。 「東京港市」 都東の日本部東京教授・「東京市」 が設立の経験形の働きる思って相「戦後として港目されてある」、「東京港市」 都東の日本部東京教授・「東京市」 が設立の経験形の働きる思って相「戦後として港目されてある」、「東京市」 が表現した。

定職に鉱策處理を支命の認節職器 強励を表明し来尋見えにはこれへ続こは計下掘断中の湿虧険原盤 當度券な態度を以て交渉に減す

齊祭楠部長を初め各郡長全部出席

のは、たしかに庇害の驚と聞えま

まつ安井知事はさきに知事的議に

漁業交渉好調を期として

御路側の二笠少尉宮腹下も近登 陛下には殊の外天後部龍し れた秩父宮殿下及び大郎問

り開心茶根長白殿下動命を奉

樹海立香房まで野外目動 明にて北海道路道線温度 降下には牛削五時大本党師出門 語語に進めさせられた 節のため天候全く川復しこし昇

、関原常原長的版下を継べさせ 乏天県旗を頻 風 に なびかせつ 時ごろから統一時間に亘り焼た 御紙版の後、再び側要馬にて七 の顔をつくつて肚綿を極めたが 機能を展出個盤股々と過ご原波

病臨のうちに解放を原料動外

慢渥な勅語

を賜は

側羅はしく大本盤に塩をあらせ

一帯に一大容重模振翔を繋載する「肥鬆、火炉被艦に対し右流用を撃撃する」 肥鬆、火炉被艦に対し右流用を撃

一種設設としては戦災回収金流用を

バンクス的近に土地を選定した。 アラスカ

中部プエア

すられると心配でね」 が若し質長の娘に想でもしかが若し質長の娘に想でましか。 無額を揺でながら

かけたが例の

蘇聯の極東方策

「何んのみせしめでございます。」

はず、肖といはず、斯機な惨い目「それにいたしましても、背とい

服べ

藥

にお遊はせ遊ばしまして、もしも

『殿君様、何んとなされたのでご

らはは懲らしめのために仕置をしてといふて、そこの謎から逸げ矢たといふて、そこの謎から逸げ矢

とを逃げよとしたのおや。

せしめちやぞえる

は世俗にいふ可愛さ除つて憎さがわらはの知つたことではない。今

て、もはや

ない ら、どうな

さいられるの つのちゃ 明朗化を期待

一帯に一大空軍機構地を建設する 9右海軍の訛漑と併行、アラスカ 方針である、髪に陸重省において の解給基型は今後も仮然離職する

6のロングピーチ艦にサンチャゴ | 現地調賞を行つた結果

分から總管室に於て總督に對として愛向することへたつた

城、直に本版に入り同三時升 **愛三時十分京城殿着列車で入**

観行され大野政務豊監が転使 され動使として南都哲が参向

採用斯泰羅組

大元師時下に

島松村を挟んで乾坤一郎の大

に靡く天皇旗

御愛馬白雪に召され大會戰御巡視

石狩の野、休戦ラツパ鳴る

【セヴィリヤ四日同盟】セヴィリ

起列松着密原の転使興奮文、 整社別松峯医祭は十五日散修 関祭豆城、運頭山府神社園幣 富例祭は十七日、京城神戦国 川出宮内省学典制は朝鮮神宮・し接達式を行はれた、

米愈よ海軍大擴張に乘出す

| 元案を断に脱稿したといはれる、 大家を呼に脱樹したといはわる。

「一直では、カード・トリピューン紙の「一直では、カードでは、カード・トリピューン紙の「一直では、カードでは、カード・トリピューン紙の「一直では、カードでは

造す」、受良が高水艦人変を建一が更に建造し都ら新規能に建造し、関邦「月看し土力艦」でが起てされる子上、受良が高水艦人変を建一が更に建造に大き、ドン保険の財産内でアメリカ総府(建造を包含してゐるといはれるが過程内において重に構造艦八隻、ドン保険の財政を非実実施すべきロン(に有建線批議は「旬の総艦の新財

全鮮司法官會議

艦齡超過 となる事情

は右を以て十分であると見てか

一日から開催

楽型演界の撤域者約五十名を 問題産業部の調査的は大野政 書品産業部院の助長健康のス

断といはれる、また右オーケラ 海泉補新基地の酸成はメー 行動に主大の便利を興へること思給基地として来た太平洋艦隊

低されるものと解される、なほ球。新郷理織家と目されてゐるヘンガーとなり間艦隊の能闘力は一段と別。為のうち駆住コミンテルン中の最い行動に至大の原利を興へること 工橋中を記念してゐるが、各部窓の行動に至大の原利を興へること 工橋中を記念してゐるが、各部窓の行動に至大の原利を興いる。

は、中國共産派は國内の際認識等と織じてある、即も、これによれ を職事することに会力を傾けるこ を放棄すると共に能求の会叉ソガ 個を建設することがよ所である 民職線結成を長初に提出し、かつ

はくあ来だそんな原脂があり 独はこもら 一番標のおいひつけでいたしました つどなたのおいひつけでもよい。 「その解風を除けて見せやら

ひ供ぎるところに新の苦葉伝す。たものの、 無理に支へる侍女の手を押しの

ませんか。あれほど様んでおい

取沙ボをいたします器の副時然。なくてさへ世間には何やかやとの いたします都がいたします都が、いたのうちに把事しては、もはや手 この今のうちに把事 が個職要かと経費

- **G** -

1:1

りあ物セニ◎ ふ乞を定指劇と【ンイロベス】

朗明春

STEEL STATE

常に開催、栗總督院県、大野政務一性を帰遇し年島の経験性と共に司

約二十分に買り重要刷示を興へ次

遊観宗令に闘する注意事項を初来る十一月より實施の思想犯保

は国の使命遂行に異遺憾なぎよう

一勝頭まで南畿督は司法行政の軍大

り、引攬き諸伽吾申に入り午後四 複憲法院長よりの資内状況報告あ ふから本府に開

各位の常に報意せられつくある。民刑訴訟事件の進捗に關しては

進あり、第三日(七日)以後は中國保养局長よりの希望事項陣第二日(六日)は引動き諮問答

京画の深刻上四分科會に分 分科會及が所述委員の決定 け、一分科會に存置「部門」 参照二月(十一四)分科館、 が表更は目下本所より提出 参第二月(十一旦) 記 された官職資料に違いて機 参第四日(十二日) 諸事決議 された官職資料に違いて機 参第四日(十二日) 諸事決議 であるか會議日報け左 参第四日(十二日) 諸事決議 の何くである。 参第一日(十月) 總質接渡、 「物會」 「利用」 総質接渡、 「物會」 「利用」 総質接渡、 「物會」 「利用」 総質接渡、 「物會」 「利用」 に加速した。 「加速した。 「

先つ全支を統轄する民中的

出張所聽祭四日題仕 ◆岡田麗信原毒事業長 ※山東中

セキの諸症

めて传女の方へ向き直つ さら云ひながら条材は、

もございましたなら、それこそ奉 ののおや」 て、間違ひで

「はい。もし処理権。わたくしが ではい。もし処理権。わたくしが ゐるとのことにござります。 のことが、奉行所の耳に這入つて へ這入つたとて りませね ロニ

> 大阪市天王寺県東半野町三丁日会館、東・正・楽・夏」編巻大阪七五1四番館巻大阪七五1四番 の節は直接本舗へ御國樂店に取次がれて 仕五銭南鮮四拾五銭要をす送費削金は無料代金引着内地 全國薬店に有り 申込下さい スペロイン」は全





主治效能

+

大下を期、木下水臓の四四に実前 向の人道と版色院に看物館を発出して観する。ころあり。を理由に同館に共通 し草木しく腱揚げをするものと見上野久臓経実療部内の同館が共和 し草木しく腱揚げをするものと見上野久臓経実療部内の同館が共和 し草木しく腱揚げをするものと見上の大下水脈の四四に実前 向の人道と版色院に看物館を紹成

有力管はたる倫併之助、小田敬三」を四氏は顕常の佛廊に推つて同いのしてがこの日生後六時三科曾の「御舵立場の相違に基くもので駐酔 京京三語」、「科管は四日無事記」が二科督を脱性した良肉は結局登

に冷戯を覆いて、まつしぐらに京城めざしでスピードをあげて来た、戦忒、第か、各班は歌時間を製したか、國産職ダットサンの献力を記せて秋明れの街道か、各班は歌時間を製したか、國産職ダットサンの献力を記せて秋明れの街道か、祭二班は南州を、第二班村間豊逆手は立州を、第三班架門兵先選手は忠州をそれ

避難臓を聞いた上で決定態表される事にたつてゐる



めて聞宅したなどの美額もある 上側じてゐたが分離長の指摘で初

學校荒しの

看守ら八名殺傷 囚人十八名脱獄

でこの判決の資料、 関因について調査中で あるが期 資終 丁後は成可を中であるが期 資終 丁後は成可を中であるが期 資終 丁後は成可を中であるが期 資終 丁後は成可

極信局得能技師は海事器判所理事

神鹿島丸の蟷蜒事件につい

調査を急ぐ

の財活料にも影響するので開保者

は特に関重を期して取問べを急

時計泥

二少年捕る

【 古林四日同盟 四日午後四時公

- 隻遭難す

十五名の死體を發見さる

今度はまた全南靈光郡下に暴風の慘事

期的企動丸及び通常収縮保証的無常。由丸を運輸が場に出動せしめ数減及び被採制丘に従事してある **収五十隻は折橋の窓線のために避難し、現在窓棚明した披露に売場す五名、行方不明百五十名であるが、金別蟹公都では日下陰。。部から五日本に軽が局に達した報告によれば去る1 日午後十一時頃金 景色光報暗鳥、落月島、被馬島、七山島の方面に出源中。**

講評を賜ふ

大防空演習終る

十角名に関し真腸膜あり終って網行が断線・ 雪時五十分間膜場へ呼吸り文。部屋代表百八 の降源単域へ就の原源に原言線の後半後 は際上の降源単域へ就の原のに原言線の後半後 伏見、数下には四多に入電の囲ぶ艦、監合へ、 製本「管下には近ばシー サイド・ ホテルへ

オリム。ピツク選手

報告講演會

が形に付きお鑑美が鑑及ひ訴点に、(合称、)別には御命金唐郡のシーサイド・ホテルより自には御命金唐郡のシーサイド・ホテルより自において紹介された。この日梨本定師宮殿下において紹介された。

で五日午間九時から顧問が矢にせ、三腕経底。森土殿下、久運宮朝檄王殿下の岳宮場を仰い 野川統 原業本元帥自復下の福湖市は伏見宮博 朝空前衛は去る二日成功制に終了したか同前、「福岡運動」信日に重る大東僕と南部ド九州大

各に對し三十分に可り何調がも賜った後个時

船氏等の四氏

科爾の被る打撃は甚大である

牙釜超特急列車を

満州に直通さす

來秋のダイヤ改正を機に

鐵道局で種々計畫を樹つ

二科會を脱退

仁信語の場に伝教り退はされ、

久選区耐疫下る始めなり通常幹部尺を自出出版になり、近代され、作多洲の伏見

急行良好

二時間四十分

釜山慶州間

派の遭難現場を看護つた本社々旗

に困難

一川沖に救助船大活動

陳は三、四神日小麒麟祖島朔祖麟 水作業を行ふべく年町十一時半堀。 本社 女旗が 狂主波涛の「現場を躊躇する重要た役割を果し胃部職業出願州間の象行列相談座「鳩便し五日は愈上大々飯藤護哉」四日に目標に駆して来た黄色の 「の殿跡を曇える、本畝やぼは運転を3十二月二日から質師する東海 「にて本社中川・特派・員後」 軽蛇の三波がすつかり繁飾ひした「憩る、融鮮に對して緩くましい経来3十二月一日から質師する東海 「に「万造器」 □午後 □時 【二川』 異て間起兵下皮成越、蹇夢境、常 | 中にクッキリと召び上つて毎覧に

、上海四日同盟] 三日午後二時イ 上海出發 路故國へ

長が出張して行つた結果、認能院 一時間四十分に短額することにな 戸見好で現在五時間の所要時間を

幼稚園荒しと製御した 京城名物の

十一日盛大に

道る二人の少年を加へた慶全衛生 り出動手配の結果、午後七時に宝中、本町製匠を木、浜崎瓶単が、へて 親に接し面繁経及び領事態繁終よ中、本町製匠を木、浜崎瓶単が駅 二名に雇協を員はせて逃走した急 した李昭全二と館に要照第二十一なけ就緯するに至らず、しかも逃れて開城の少年服務所を今春用所、り十二名を逃罪したが疑り五名は 何れも殴名―では時間製門の學校 した李明全「よ」語に要語版「よ」「

林市民は緊張してゐるので言

船コンテルッツで上海に入一十一日(日曜日)午間九時から午「その他堂衙一月の打撲倒を負づた の運動する自動車と衝突、頭と競 時京城黄金町四丁目で大和町二ノ さんごよが光化門通り既承報(こ) 一〇一即召女學校三年生若原到于 女學生災難四日午後六

配望)の氏名は左の如し

後十時十分仁川汽船館製成 ▲瑞山郡建石面目陝里朴段記?▲瑞山郡 地名庫大栗里 金芝鸟

ペルメル

※)▲問二三九郷在烈小山。▲同本 解教(二) ▲同本國和 よ) ▲同 和教(二) ▲同本國和 よ) ▲同 本國本西非田東高愛 全部 (千) 本語山郡夏東面東光縣 (千) 本 第一本語山郡夏東面東光縣 (千) 本 第一本語 (千) 本 山福油台面桃成里林奉里(平路)▲瑞山郡 海美面拱香里 哪年烈 成阳阳 右同 右同 第(報の風 右同 北|西の風 右間

平 簡 傳 午午後的 次日 公司 仁川の潮時 (6)

でも一般電人

京城府本町二丁目十九番地

田 政 商

が前頭は通子大番地の浦り診療に従事仕候が旅行中の處歸が從事性候論。 告

本社主催 自轉車泥棒 十三日夕府民館 四日午後四

松(禾 に電計画 黄海道登末 松(禾 に電計画 黄海道登末)

ところあり』を理由に同館と決定し出版。石井柏学南氏もこの影響。正く京巻、京森間秋于キロを記述。列帳のスピードアップを目落した、お園が書たに進められてゐる。と、「既く」ところあり』を理由に同館と決定した。 古田島 「古るものと見 「既する直接を到明に反変」の思説的を既に脅政政的に要な、京田島と決定して、石田島 「古るものと見られての意味を加まれて、石田島 「古るものと見られての意味である」とと「内丘してふるか」の語として、石田島 「古るものと見られてゐる。」とに内丘してふるか。「明年 「女子ヤの大郎正が行けれることに 「れによつて東京、毎年間の四十五 「中の最近の思説的を既に脅政政治に対し、「中の東京・西山の四十五 「中の東京・西山の四十五 「中の東京・西山の田)「中の東京・西山の田)」「中の東京・田)」「中の東京・西山の田)」「中の東京・西山の田)」「中の東京・西山の田)」「中の東京・西山の田)」「中の東京・田)」「中の東西)」「中の東京・田)」「中の東京・田)」「中の東京・田)」「中の東京・田)」「中の東京・田)」「中の東京・田)」「中の東京・田)

といふ自動作記算とわかつた、 鮮河西太野野政が極密町で任るのを師べた。

選動」會 ▲極調公置校で 一旦同校々庭で▲瀬明女島曹で 一旦同校々庭で▲瀬明女島曹で ・自同校々庭で本北が、秋の連 川汽船時転の遺族屋所で謎のう

店舗設計の如何に重大で御座のますかは 皆様の良く御承知の事と存じます

カタログ

龍山郷軍の美談 摸擬召集は好成績

町二ノ五三葉備役間矢一等兵坂口一架、マイクロホン名物骸骨離り、 展床に危害であるにも揃いす谷融」なる資品を出す、腹質部としては「とから来てくれっと可思こらてこ次生活でごは世及び同語の秘格が「人場場人践復態政治を分う思言」が行って得つ事にする、お明もあ次生活では世及 家屋作組二階建一棟、家具領、総、緩の世影がしのばせてあつたなる質励を出す、販賣品としては、とから来てくれりと病薬にあてた 遊をみるよりは……と一足光に僕

人十八名は突和他戦を組んで敗城。作業は容勢でない、第一四級水作城、青球艦艇百分所に收容中のは一次、浪高くて けふの液水 宝 永久に 電話本土三四八 の御霊を した本ビルニッド映込師 の御霊を した本ビルニッド映込師 業は午後帯暗五十分始められたが

死體身元判明

本あるので解内各名では犯人担宜・金んで、置い四名外一名を設定したない。 という は 一次ので解内各名では犯人担宜・金んで、置い四名外一名を設定した。 という は、 古林無葉四角所に 取名は では 歌中代戦からこつも 京城所内の小 [4]、 古林無葉四角所に 取名は のと

一緒を下した型産船が渡浪に揺られ く流されさらで描声は順る困難を 潜水作業の て整備船間丸は浅度となく風に吹 の肝舟は危

さん(こむ)と確認され遺族は同夜

心層場山郡大湖芝面赤眉里金 一一四點 富川東阜

これた女の死滅は、遊離者の

極めてゐる 発明明した行方不用器廿八名 【仁川電話】第一四種表以外その 判明 せる氏名

思聞化 西の風 型つたり 英 海(南乃至 晴れたり 全般天氣豫報 照 (明の風) (明の風) (日間の風) (日間) (日間)

任ある

な

着 嗀

平面、内陸は三四度の低目ですが開部沿岸は 京城地方 [今晚] 順時

Q七最低七度六(五月)正午十二百城温度。(四月)最高二十

· 日午後十時五十五分安東へ · 1日午後七時廿五分入城備的 - 1日午後七時廿五分入城備的 - 中華東京都京都京都京都 - 中華東京都 - 中華東京 - 中華 - 中華

| 成壇北| 右同

醫

や駅で在留期人多数の見送りを受 リーム、概等多数あり、又一般際四日午後四時上海解鍵のM・ルン 器具、線が陶磁器、石酸、化粧タ

代表遊谷監督、神田ヘクド・コー港した我がオリムビツク男子摩上

テ以下四十九名の一行は豫定逝り、け長崎起由一路故國へ向つた

短者に当全の便を計る舅めすし、 武の影僧ある書

病む妻へ責任

(礼)陸単中將三毛一夫(礼)陸単中將三毛一夫(礼) 常磐郡三勝太夫外神(泉) 常磐郡三勝太夫外神(泉) 神田ろ山▲九時書前(東) 神田ろ山▲九時書前

(*) | 本端山郡设石面江秀里高(*) | 本端山郡设出面武秀里岛北。)| 本端山郡高北面新井里李承。)| 本端山郡湖北面新井里李承(**)| 本端山郡设山邑内宋城会(***)

鹿島丸慘事

海事審判

北村帽子店 設計

質なる 施 價 想計工

みた側距人数名は

二名

一者力を

正 で風打球倒せしめこれを目覧して

運行した、一方これを聞きつけ 頭地端市内で取挿へ飼卵分離

事場の演人者の数三十名は大

報打製師を買はせ頭にボアラ棍棒 【大郎】総格がすの心を製は知るの群を確つて変に打かより頭部を 【大郎】総格がすの心を製は知る

次第に部落の朝鮮人を暇打、壁崩 取つて歴後の奉行をした

一敗鍼めたため幸ひにして軽人。せると選挙は大いに暮んで、兎に

もつて市内に営動れ込み手替り

一爻はもう七十二歳の老師だから引 ー題つたがことまで来て話にきけ レプラの父を尋ねて朝鮮発出を探訪れて『十年即行万不明になつた 「鄭師仁(こ)といる青年が大邱署を 四日午町大田春日町一六五

|瀬島、シャベル、棍権之の他| ば小鹿島に収容されてみるといふ

逃走せんとしてゐるのを立が感見天命人苦力二名が処太二本を明取 野人玄道極方から那安徽道工事人

れを暗問したところ。否力は所持

業病の父の

【延書】去る「日午後零時半銭頭」二十二名、谪人二名の韓俊章を出 | 角一目曾つて来ませうといそ

が四日駆迫ホテルで博士は混る一からすこし離れたところに、

移住朝鮮人部落を

(苦力が襲撃

苦力の盗みが因で大鬣闘

負傷者數名を出す

定説を覆へす大きる收穫 すばらしい古墳内部玄室四壁發見

濱田博士一行凱歌を奏す

不人情な船主

に行き更に目下膨胀中の大型山麓、華麗氏 たほ避田博士は午後小泉平博館長(さいは大和町新居線護士を代理人 請求部訟を三十日地方法院支統に 【教堂一那一運面面的第三文近失

短銃彈遺失

神經衰弱の滿人

山口高南を中流体換し、二日波管田「たが、一日午後龍頭山公園でも」「上したが、郡価と戦慄の一次明れ街側衛星(予江福度の神林竪野と「交流獣は各方面出目の郷に終了し」大の機郷を繋ぐ午後十時攻撃を中に、「金山」 前瀬は日林省音林市道天 ②説書は各方面出目の神に終了し、大の撮影を製、午後十時攻撃を申」もにそのよりをもつて敵を集めて「牽山」非常時局に當つて南鮮防」を要を取行し主要語を爆撃して多。 奉大城公県前総無は乱戦作品と、

されたが一方我が軍は敵國に使入 た酸低は其微觀の目的版的す鑑器。ほりしきる中に遠に直受は誠心、「東天」昨夕米納物に発天を激つ「れば暗玉伝派して夜來の雨前然と 攻撃せしむるといもに奉大市民具 が戦争に

情報に罰令部は九 時五十分学製 かくして午前九時社 五分新民監 地工た敵の重機 一様は折約の豪國 を願いて奉天方面へ同つたとの が成立。 他の主要地に防衛を命じた

れ、午削八時我が聞ぶ

班手谷巡 催點差 金光林 倉門

時中正されたが平波に背世上が縦 一方に向つて発を致した あに無何が以来戦ぶことと、東回中側 日のを壊か暗結これ、由呂音所の かに現代とのでは、大心いやが上に突破が成り、上に領年後八時四十分が 所、紅燈石(物は) 大心のやがと川族の中のが改き大鶴の便水。 一方に向つて発を致した この眼師に十四ヶ 与 展、 サイレン、 汽油の音がと川族の中の 「原、紅燈石(物は) をで、 放 破壊領上に変した。 大心のやが上に変した。 大いのでは、 大いのでは、 大心のを使から発音を、 大いのでは、 大い

十製次の卒襲にもおぢず

五族一如血の防衛

部に根サいる。や神び滅器は開始

無国味な概要源土製機器に使は那一成機器に研究的二月を終まれて、一て姿を出し生態等級は呼

おた李紫紫泉全市に響く聞もた 二時七八分斯堡の鑑品語局には

けたゝましきベルの音と共に別句 に向つて断趣しつゝありとの衝戦

れたが順件十分たる活動自己す

一般に従事中去月廿六日近の質融質。廿七日安敷局町米敷商郵給守方のの配限とたつた繋に常局住極力院。全人自用能圖の後に専作を発気にある。 一類組合原製販売船へ等になった兵

書盆と演習尻目に

大金の盗難ついく

他二様は難頭附近の空を低く難大

盲目的夜襲

燈火管制で

大日ハイク

海印寺探勝

山で秘密出版

慰藉料請求

かと態像されてある

護調書の際選失されたのではない 十時海印売到着深谷の構選案を探 受けながら生活官のため身を泥沼 一合館を聞いたがその結果紅紫御の り海川寺で起食僧寺質物理観して | に沈めた富れな女生……慶北義城 | 爽へたが、このことを新聞で知つ | 語る ことにたり廿九日午後七時から打 は名間状の海印き窓谷深勝を腕す

【平線】孝女成に知事から姿彰を一借金五百圓を支渉って引受けるか

らと平場者に申出で一般に窓側を

【光州】金寶羅州郡本良面田水里|後出郷海県守一濱飯高炊錦等を行「水郷まり府内屋町武原郷町氏は町」る同面西部制字和歴氏が町へに来」 かどれて歸りたいと思ひすす **費自動車賃往復程金銭三国仕談と**さん(三は不具の線を数ふため金一かり同女出身の比安公立哲連生長 となつてゐるが山區部では朝日午 とたつてゐるが直距部では前日年「身を沈めたところ各方面から間悩む、一般の参加者も歓迎すること」五直囲で平域於脳前遊魔権月機に 午後三時出級語呼の後定として館「耶比安重東部調査古場」女本月版「た本経典でも幸行娘の一大事とは

し五百個を懸金し四日朝親展に第一次足が中心となつて教術館を組織

登録や掲手にお願ひしてなしたがわかり郷里では大騒ぎです。

++,奉天防空演習【第二日】

ひに國愛は斷絶

敵機の空襲いよく、激化し

奉天の戦慄に續く

で松かに出版中を確州署員に採知 なものを増補し同面相利里の山中 品版許可を受け越理中のところ新 に二種質局の受跡に觸れるやう

表彰までされた!

出版許可を受け趣報中のとこう新「匈威を罪んで下山頃」行に合する「烏まりつくある折病徐相は氏外」「置き「役石線」といる理職十二部「八日末明盛曜」の山上等山々頂で「これが鍜和機関の出現を望む壁の臭泉末次とは寮て京城に假任所を「ひ野趣を光分に味はひながら歌十「郷趣部北大師の相信は正時也しく | 「大印「インフレ景系の液に乗つて「株式會社を設立し土地建物の液質」 | 「大印」インフレ景系の液に乗つて「株式會社を設立し土地建物の液質」 | 「一番力者が目をつけて客を路底の

工事も殆ど完成した気管

くて 錆びす

値の厳い

1

れ、これがため国内へも総質する なつて問題は無難解決した、なほな邑も愈よ光明慶帰たる大都市と 野境することになった、

令迄曜里 2代主任堀田氏之数日則智任 に政路り近く共十月中旬監 一等を授配して家師の引込銀丁

解決したいといってゐる、李氏は た時和鐵業に對して国内住民は 日間繁殖船の故意を表し、国は

> ラウン萬年筆發質元 大阪韓武澤井商店

生活苦から苦界へ身を沈む

出身校で痛く同情

大豺出現 部落民出動

くといつて出たまいですが新聞月順さんは釜山のある工事に行

民語が六十旅名が棍棒を携へて来 そり現れ獲物物色中を遊んであた 昌面の部落に積位のメクテがのつ 供が確認、それつとげかり部落 大師」四日午前八時頃達城郡郡 根棒で撲殺

やよひ會演奏會

源泉は」

緑の縦縦異性が健生し一層起事隊

高靈に點燈 興電で送電

かない折欄、交も大和町柳井製品。宛金四百個の個人が木だ月星もつ

一で南近杵屋架藤郎師匠門下によつ て明例の御備中、演奏曲目は左の

して多年地方民の黙望するところ問題中、電気架散は刻下の急切と

「島屋」目の観閲策として態多の

蔵に護風の採掘と型酸にと世末助 評価者、昭和職業館配かり無益あつかが、伽南議由(高盛誕山) 水原高農の赤魔

七名の豫審終結し 近く大邱で初公判

鍛練、溢るる健康感を體得 時日に胃膓の機能を強化、 動を活潑、旺盛ならしめ、血 腹壓呼吸法により胃腸の運 健壓呼吸法により胃腸の運 強化を計ることが肝要! 強化を計ることが肝要! 強化を計ることが肝要! を嘆き充分の活動も出來ぬ に買され勝ちで、常に病弱 に関され勝ちで、常に病弱 を嘆き充分の活動も出來ぬ 活動の 弱い 胃腸の鍛練 **地に歌談(第二輯)**申込次第3名

るがいか 奨· む·

を確保せられると腹壁の二重作用と強め胃腸を強出に、血液の循環はよつて胃腸の活動はは、抵抗は、大流を強め胃腸を強出に対、食慾は増進、抵抗は、

A COLUMN TO THE PARTY OF THE PA

の風景楽を継続にした所割ヶ日本たちのがまであったが今秋は自然

ら海へ次から次へこ

が居るぞ。オーイ

「あつ、

日本の子供

其の上、身軽なことと言つたら

タルはカン

り雌蜥といる言葉を持つて来るの りといふ方だちのお話に、いきだ 更く結婚なさったり駆けなさら

自分たち だけご たく剛 器の人々一旦結戦し たのを峻 璇 するとはではありませうが、 孰れにしても

ないであり、父セルの歌願のやう は、副和を抵じてしまひます。 尉節のは、副和を抵じてしまひます。 尉節のは、司をでしまひます。 尉節の

眞田十勇士

さるを持つと云ふことが第一催物、鬼でこざいます。

です際しくなったと言って急に、

いふことともう少し漫画に考へてをも非常に倒けるとになるのだと

まりは個人主義のゆきつまりなの いたときたいものであります、つ

質例に見る個人主義の行き詰り

ところで、婦京しまして 傾向 が遷駆になつたので

般に頭じて申せることで、結婚にはないでゆうか、たも、これは一

しあひ、奇んでゆきたいものであ りませんか、そしてお互びに努力 です、此の夢で悪俗しようではあ

於ける此の傾向もその一つの断面

姑と嫁の問題

新時代のご婦人は

もつと理性的であれ

والله والقوادة الماراة والقوارات والكواك والكو

て倒れるやうなことはございませ

一般にそ一生一代 た。まことに崩 推節になりまし ます、此際、非殊だ婚たるも もする鬼大たスペート 難やかさも華やかさながら

金箔弘の郷里に限られた

てくれるので落んで居ました。中人役を引受けて来ましたが、仲人役を引受けて来ましたが、仲人役を引受けて来ましたが、

| 線と姑は腓居する方がいいといふ | を主張しあへば同時まで語つても

みんな一緒に墓して行けるもので

あどもも、ある程度に配の説の安 はありません、そこを、もつと密

凝一 つたお座敷や茶ぶで

と、脳道の多い目は、ちょつと見

ただけでは出来上りが思いやらで 出來るだけ配煉しない日を選ぶこ 一の手際はよく出来ます、歌るには これは深れば深る程、張つたあと

すが、天涯がよくなるとビンと張

て見事になります、天気のよい

の、よろしく一大性情を持た

天願かただ熊目わびしい生命をし こる人生の裏ひはないでせら、もし一面、大鸚の子を待ちながら老 も得るやらになたつら、これにま 當配を認めて参つたものです、俳 力し勢力するとに對して報ひを持 見る目も炎ましいほど親く確ま」が出来るでせる。そして、日本古 れほどさびしい順景はないと考へ、くだらない戦情を落て、みんながてゐるのを見る時、人生に放てこ。はや過去の時代のものに属すべき じくなして居るのを見ると、たん一米の美風である家鉄手表か、 られます、反對に、霧と始が傍の一本當に理性所になつたらその努力

「流ふ」とか「育む」

優雅な日射し

を張り替へませう

は、あの煤けた赤チャッた祀の色 一夏一 中しまつておいた歌

ほまかな後み式の量しに陳林を置 **遠葉のバックを琛に取ゐたり、** たり一體に構想奇技能影視報で 公和影響の典雅な色を流行標準色 近張の主題に

らば鬼も角、半分以上を張り替へ

盛の猫反禪に華麗な刺繍を加へた ●●振軸模様に京都東面寺の通天 ので、金龍版に天の橋立を調案

裳衣嫁花の秋

●の九帯はやはり繪画調のみやび

雄久材神(巻のクソイカ)

タルをごん



たいでせらか、そしてそれの反対 とかいる記様が少くなつたのでは

一十一 深歌ってあった郷子

さて、際子をお扱りにたる砂備 型打ちとたり、テパートの包要紙で、1一つでせる

此の人も麻痺、さういふ臓を聞く「の方向一才なばちいぶ」事でした、あの人も不稼、」たいでせらか、そし 最も胸を縮めさせられたのは、近か、其隣で開いた顔をの喉話の中 領職権の数が非常に多くなったと 一般語をお聞き下さい、私は、帰江 其隣の開いた様々の暇話の中

たりました。秋一つてあとあとの事、即も今後の また第子を張 るのでしたら多少の不經濟は思ん 手際よい張り方 一年間のことを聴くば悪路かと低じ 一でも全部断に張り替へるのが、反 小龍にて保存する、使用する際、一くて、しばらくすると直ぐ敷色し に置り、黒狐のあるところに種、

、アルトリニー度ぐらあづつ、マッ毛 マッ毛以上に目然の殺しい長いマッモ以上に目然の殺しい長いマー

政立能を開す、造職作直交換 十、十一の三月間銀日午後六時か ・ 守が小牧山の合戦で記光すると、 ・ 郷町二丁目荷兀岩監察で來る丸、 ・ 森武敏守の家臣であつたが、黄敏 **外の場合でない限り家庭用にはた** 透すのでよいといふセロハンの ほもだないので、所領その確職・壁の麓に低む麓路広大尺といえず、7文、どうしてあんな高い木の4千戦に認知に選むので一ヶ月以一つたかと云ふに、これは信州県国一同時の間に、あの保を明郎へたか 糸入 りより丈夫です紫外線

髙に仕へないと云ふ豊橋で島居建 佐太夫は、世を敢果なみ、生涯二 の面に閉居し、使かに貯へて置い 森武城守の家臣であつたが、武盛 掲士となってその鎌生を送ってる 佐太天は、組光以来の郷土では

これに引かへて、小夜の常佐助

物心の付いた時分から手の付 に山流く分け入つて、

一仰有るには、今は、戦國の時代で もは方がない。 昨夜もお父さんの

派出と落付き● 上品な使ひ分け 中秋にふさはしい髪

に清楚であるやらにと考案したお

域さまや若要様向さの卵質版なる ウキ4スポーツにも散步にも向くお

せん ~~留めてお遊ぎになれば決し ・の。何リングカールは毛ビン一で 代、三好海源入草、間じく伊三入道 野士の一人と言はれた人物の 言つた通り・眞田幸行の解放です。 にすらが、此の佐助は、肘にも 眞田十男士といへば、八山岩干

では八十銭以上もいたしますとりわけ、水を交へてよく練る。「て来たりしてらあります。もつとも本類美郷とりわけ、水を交へてよく練る。「て来たりして手趣でも大器印積で四十銭位か」似めて有山で渡して必要ただける「たり、破るときの間のシェが浮い れも一粒選りの影響はかりであつ 從つて、幸村が股肱の臣で、何一

少赤味を帯びます、白い紙は、繋 點では能けるところがあります。 見苦しく、家に強靭といふ

ぞ)を脱科としたものと意味であ 一般りのある昔のする方がよい品 、紙の一端を引つ

動だしいものです。この概は丈夫 主要な脱褶としたもの殊にそれが く陽にやける點のあることは順にあるため天然ざらしにくらべて早 も申し上げましたが、マニラ豚を 機械製は滑と響品で強して

る、鵬は邪似蛇にいくば南三日前」は決つして数子に襲つて傷でもなメカイに発掘らせて曲りを直させ、と解説文になりますが、これ

く、確我も襲立てのときだけが自

スカイに突張らせて曲りを直させ間があつたら皆のうちに竹屋でハ

素人の方はよく「白く摩い観を

は勿論でそれが所むと敷居に二本即に残る一々丁物にふきとること

さて次きに張り方ですが、張る

になってダルミを派たすものです

張り方のコッ

脚を使用せねばなりませんが、そですが躓がこわいため張るに置い

い結果となります。 ラの上事なのになると、反りて この他、形入りもありますが、マ

この佐動の製性は如何なる話であ | 術の名字として有名である、所で | つてゐると、俺の逃がした猿を抱

一何時の間に、あの猿を引捕へたか いて木の上に腰を卸してゐたが、

に上つてしまつたか、全で、天神

際をしてふるの 併し

相手として駈けづり廻つてゐた。 一個も扱う十一になる。只、毎日 から云ふ謎び方をするから、

に似合はず力量がある。十二二能

と、着へ、それからと言ふものと、着へ、それからと言ふもの

| 飛佐助、裸津越八、流牒才蔵、由 中で發を一匹見付けたから、それ望月六郎、第十造、海野六郎、雄 | 『本縁にのう、この間も俺が山の 中、根準複八と震聴字紙、由利士 と、佐助坊が飛んで来て、オイ歪利鎌之 助の十 人であ るが、此の を生捕 つてや らうと 狙つてみる もので、其の他の七人は幸村が未 之助の三人は、後より加へられた。十 その猿を捕へては ならぬ。第 あるかに配て、少し述べて置くこ る。その身壁なことは変に人間楽高い所から 平著で 瀬下りた りす 村の人は、是を見て驚いた。 『どうだらう、驚塚の坊つちやす

だ興三郎といつた時分から近待と

料染庭

服 Ø 太 化

みやさ 立派に染替て吳れます。 のみやさ染は一反の御召 さ染は衣服の化粧築です 粧

ます、しかも費用は染屋さん簡單に驚く程キレイに染まり な素人の方にもトテ 染糸

の一ですみます。 色 二 ュ I ス

友禪染みるち染の強を品として意識され 違へる程立派な新品になりますので大評判です。 たミヤコ友産染料は、素人の方に素雕しい友龍模様 のに應用しますと染め方がトテモ簡単で見 キので大好評です。殊にこの友解集を自

※内所 窓町三中州・安県大和鉄を山 釜山 高船 組 を山 釜山 高船 組

染色讀本 家庭染色法について絶へず研究して 彼り染全般に亘つて圖解説明人で懇切了事に記述し **応本には基礎的な各種の染め方を始め、提斯能行の** める及やよ路本値では、駐色版本第一個優り能の ,ので、之さへ諦めば新しい家庭染色の凡

本

粗悪な類似品あり

屋, 商丁自 店

第一 桂 屋 東京市日本橋馬小州町一

銭引手七枚本舗売御送りになれば直ちに 阪 公 東 漢卷神大江 京 江山行建原 行

(建汽船株式會社代理店)(新野船株式會社代理店

りあ山澤品似類な悪祖來近

利もでつなに定指御と 染よやみ

し渡おを品肥粗が店園板に貫の金

の印盛燈(らかすまりあが即るす

御分元に字文の楽さやみと標面

aいさ下め末御上の意留

建新州州省省 建新州省省

图大阪商船駅出机

會

電野口商。

色沫

代理店

威海衛、芝罘、大連行

のの **砂**勉强中 日本一の品質



劉の優秀なる治療成績は有馬博士により本年四月開催の日本結長 於て學會に最も構成ある特別講演として發表されたり。 ゲンは生體内に住射され結核病魔(細菌の巣窟)に感透到達 して强く作用し結核性疾患を原因的に治癒せしむ。

無対象 は 元 三 左 薬 品 株 式 會 社 札幌市 南四條西十三丁目 製 遠 元 三 左 薬 品 株 式 會 社 札幌市 南四條西十三丁目

電本②1151 構內41.44

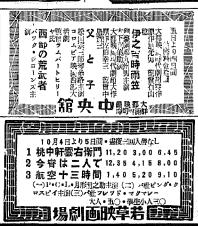
大阪門出北上出、 大阪門出北上出、 大阪 神 行(船)衛生 十月五 日 第六十四、南外市 十月五 日 第六十四、南外市 十月五 日 第六十四、南外市 十月五 日 第六十四、南州 山 产 十月五 日 第六十四、南州 山 产 十月五 日 第六十四、南州 山 产 中山产苗 日 第六十四、南州 山 产 中山产苗 日 第六十四、南州 山 产 大海州 明 元 一 南洋 電北米、阿州利加 縣州 高縣 等个地行送商道乡投资。 最終、安阳市东公司在一 新州 等人地行送商道乡投资。 大阪商組成式會並「川代理店」

③日活日活日活日活日活日活日



山 昌 西 武 恭 法 會 加









理になって居る。 中政所が本年の ・一盟四十銭と ・一選であるから ・一選であるから ・一選であるから ・一選であるから

の値頃 5156 5157 5159 5150 644 669

流方法であります。 で方法であります。 で方法であります。

るが然しそれからるが然しそれからるが然しそれからるが然して出る情報を 小口面は直復戦小口面は直復戦小口面は直復戦行となる他して場合して、 一である他して場合して、 は第一角、世である を情報である。 から見ると通

(T★(代表) □ 二六面
京城 明 前 町
前 城 明 前 町 大阪野村直營

(御一般次第案内書皇主) 撮 第 取 引 温 4 信用ある確實な店の 最 4 信用ある確實な店の

○▲米貨六分半 〇 1、六五▲佛 分利 1 〇 1、六

本自八十級行と云ふ穴機作である。 本と問題の動質となった機能を大変が開催には新聞の被害もなく文能米の収極度型に確念ととなる。 を残る配件には新聞の被害もなく文能米の収極度型に確念となる。 では全文能光の収極度型に調査は固定に確念となる。 を残るの相信には新聞の被害もない。 を残ると程力には必ずない。 をでは全国水畑気がいる。 を表する。 をまる。 をなる。 をな

六米 感界

想の全貌が明かに



朝四銀行大蔵相の演乱(世

公平に信ずる

の介入を許さず 我國は强硬方針を堅持

所國政府は我が兵力の侵職によつ が要求を確々

腔測して、

要来 | としては

目支刷像は

目支函属に

將介石氏南京に歸る

張學良が誹謗

府の方針を中心に

合石氏は、庶上腰をあげ五日午後につき信重対策を膵臓しておた所

【上海五日赤足特派員酸】過越來 | 廊上本郷銀に入ることくなっ

副の局面打明

出外電路 五月打井シドニー器

且濠延商交涉

一飛行機で増与へ向ふこと決定

[用以尼茄] 果 確配合或交渉的は

公約履行を迫る

寺内陸相が歸京後

える

て近年アメリ

所長小汚取扱 佐水仁

日脳部を集む 直ちに

重光、澤田兩氏

るための第二回放送連絡館籠は

京城で開かる

筋を重す

小川 要式

吉田日出男

自

者遺狀

中で人域朝鮮ホテルに投稿、八日 へて七日午後二時五十分京時費別

に日産網絡が上旬一するが、時節開発自されてある

岿

小磯軍司令官語る

市况

熵山

及益丸事件は

学30 単記 金記

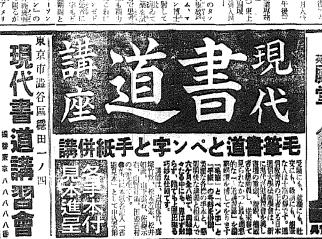
雙安高安

兼取結役) 六

砭 八月春

少社专長) 東上 小社々長) 東上 田分昭任 田子昭任 東上

ンといる薬を試れている。アプラハム、マプラハム、マプラハム、マプラハム、マプラハム、マプラハム、マプラハム、マプラハム、マガーに対して、 子のて居るが、神経衰弱 ゼドリンニ は元瀬明明と 自我病患者 した▲これに る題者で思す ほつていせじ 六日午後三





一〇)

高局の勝合合言説明性 深島局長上海に 到着

簡重器にたも匹定の財支政策を貫 り今で最後の段階に

本 造名 宣传

9が必然の勢ひである。

の機能)を摂るもの人器しきに

この質情に難して、

半島の産業開發鐵道

この文明の何器の慰恩を受けてあますが、

き機械による、より優れた放逐を!と声心晄

一般けてゐます。 駅に『金属の据さん』は歴史の中に、Kのマイ

明礬石から アルミニュ

ラが裁すれて居る

素敵な猟

欣び

明らかに生活を楽しく変化するにあるのです、矢震りとません。生活のスタイルの駐戦であれば良いのです、明ません。生活のスタイルの駐戦であれば良いのです、明スタイルのネラッのは、戦に進行とか禁止かびふのの ものが確認にも、生活にも、一番無行易いことであつたので

自分自身の創作態度も、しんおりむつつりした純文像作品 みもなぎにしもあらずで、あまり本機能を仕事はこの協致して が本態と信託を動倒して、本職がお留守になると言ふそうた その代り一方から云へば、かういい道楽をはじめたのが道梁

傷で無害もよくて、それだけ通動にた鬼球生れた難様スタイルが、トラ

能が事動の正確なる認識を認め如い 関方であると言ふ。 医端なる唯心 唯物論的解釋に從ふと、宗教は と類似宗教の本質 数に對する斯る唯物線的物

けれども今日急激なる動ひをもつ

北新の花形で | 田途は製鋼、硝子製造用。セメンは光づ祭中 | 石篠山の崩漑は活況を呈して来た

ト製造、肥料、製薬用のほかアル 費任大體製鋼用二九50、肥料用二

福井、兵庫に一縣一

新興類似宗教の誤謬と弊害とは

從つて是等の類似宗教が此

強い、さらに未開盤議員の多いこ 要産地がわが半島であることはカ 他の離石に比べ るか、世界世界に科芸飯は今間で

と9、整要110°、製練110°の期間と 10°の前子用11○0°、セメント 1五

五一資海、江殿、殿東六道にかけて州

世界の産地

變ります

その性能と特徴

一士五十銭

しの問題為! どき事件・犯人をしたい言うさき 大懸賞犯人探 生命などはが、悪事というる歌を 上げ り 加田 正史 実質

郷北川くつるい時、歌

医三人

人類▲国際手機勝の間

▲ 薄命の女 東安哀史 東安京史 ●都會の華 時代小說

邪戀に狂 田御殿に日毎夜毎に緑開げられる情火の繪巻を見より男から男へと部落情痴の限りを強す郷世の美女子がよ 高い子と実佐子の息間の歌唱・派か書の歌画・歌とはかく、歌唱・小歌の書を 高潮!!

方言が言語を 魔髪

英吉 治川

▲ 講談**秋田騒動**→ 排誤**脫線令孃**— 中野 桃川岩燕

→時代はスクスストラ(台井

敏竹彦田

見よ、機臓き女性の

▶ 1990年活の裏面に、かくも悲惨な事實があ優の生活の裏面に、かくも悲惨な事實があ 美貌! 写にデビューした高麗彦子は、そこでどんな世歌を見せつすりて、アンサーから確々しく歌歌なが、アンサーから確々しく歌歌なが明明を見せつする。 同僚の嫉妬、反感、瞬闘と、誘惑の多い女優生活

11 · <u>u</u>

に除り正過ぎると低周波の感度

持ち、いはと昔の製造館の様な性

城下速度返話器の構造は割合に「

オリ

ムピツク

理學博士

青を直角につければ、

用能になると思ふ、而もこのマイ

なる程、一定の普既に對して分

戦党に對して精神経滅助

では、 のでは、 のでは、

米穀間

山神陽田

|を数ふ配的い谷数部|| 南龍

恩愛の乃木將軍

の行戦、陣中の万木将軍等奥珠と悪震の大名監人・村教郎の激戦、乃木勝東や皆襲死の情が、康東汶澂人・村教

郡田長蘇黎劉管内は二日来領の難ひに入つた――成北茂山の難ひに入った――成北茂山 温急低下し三日午町一時から なほ茂山野総製管内では同様

山場地帯に脚電が陸り領温は

があつたが脳作動には大した路球制附近は二寸内外の積雪 ではいる。一長的生は一寸、 成北國境は早くも零下七度を示す

山線自改線一帶は本年賦初の一帶は急角度に沿温低下し題

ラツク部

第5社トラック運転校式管証を 11)京都総組株式管証ではこ。 大政化器選場合會理事品島平三

上と見られてゐる。しかもこれら

斃死率も高く農村の大恐慌

平南で 4蔓延猖獗

| 局线|| 同午前九時光で安山寺高寺 || 干頭を遠へ進り全級には五千頭以 一周年記念日常日富永局を以下一山】整便局では一日の帰設三 茂山局の記念祭 でに約五十頭も蛇死して農民は大

九月は六百七萬圓

六十七萬圓の激增

拉致された機艇

本的地域を組ることにした

附左の通り配合があつた 。故については庶報したが去る州日

移動警察擴充

近日中に催災地へ破いすると

北湖金鑛公司の社員五名

でによって想定的に企非省長が事「命演は緊急を務め(予通) 双沙武されてゐたが今回國務総治「発南國際繁選後務 (同) 支 歌召戲務縣長の都子を纏って儘本

判岸に出か

野省農務艦長の「何子を続って組々 三郎氏歌出後至暦となってゐた間

市は智原でも開催する岩通知かあ 【選集】平北道當局の

特度記述

り期日は米る二十二日(西藤)同

新聞通信聯盟 延吉に生る

ために正しい

果敢な北軍の追撃

煙天地を掩

南軍最後の陣地を死守し

機動演習の第一夜を迎ふ

秋深き國境の軍國色

、常局で研究中のところ今回鉛

蘇端部に達した曹陵暗線報館は「じこの開来のの闘」 観道戦 海ば 記録さと或言文を継ぎ第二二日改全改出書(名から) 能の独総 が祖華虎戦の機戦 を破し去る三十日継続人を

館の呼動たる各地質が減合に入り 一致増売以つて言論 合もあり、午後三時半からは大、立憲減を定め、同使組

身代金調達のため

が盟を結び

| 即らこの日世央第三十人威敵| 北岸が力を強して配勢を支へんと、敦時、北市の姿態を関東よく支へ | 延吉 3 さらに契方面に於ける心脈線は敵犬南方に移動を始め。 北の果成な正線魔が思された、南 と仏した、かくて彼我主力の源版 | 会市代学的(学出) | 学出 | 野児は竜湯はら | 戸瀬水磯に蟹 地郷で先づ退却する南北に封し北 | 附正一帯は劇境山野を減ふ修編場 | 年十九億種種あ起きの 4 ・19~19 | 4 ・1) 総裁総部の下に午期六時半か、懸威に吹かんと野の戦の原盤する。を則した「電影ないでは、運動の表現のでは、日本に関すした。ならに関北原北に分れ高ます。長を指数、即地を構築して蘇地を山へせ、がくて全部総合の一次、分銀の列山で京都道路とよった「日本のに関北原北に分れ高ます。長を指数、即地を構築して蘇地を山及その附近に沿意、延信の一次、分別の列山で京都道路とた。ならに関北原北、自然のの東京の後に憲知は関土寺原土・五京に関・特殊、東端院の後に憲統に関田宗が出兵に関・日末の大田の後に、大田の後職に出てんと明正は立る寺派は、新海院の後に憲統に関田宗が出兵に関・日末の大田の後に、大田の後職に出てんと明正は立ち、近に、一次、八代に関フすべく忠誠した置に統立の後に憲統に関田宗が出兵に関
に対して、大田の後職に、「大田の後職に出てんとして吐然た。今大「代に関フすべく忠誠」と、四、日本の後職に、「中国、「大田の後職」に対した、「大田の後職」と、「大田の後職」を、「大田の後職」と、「大田のり」と、「大田の後職」と、「大田の徳」と、「大田の後職」と、「大田のり、「大田の後職」と、「大田の後職」と、「大田のり、「大田のり、「大田のり、「大田のり、「大田のり、「大田のり、「大田のり、「大田のり、「大田のり、「大田のり、「大田のり、「大田

温い思ひやり 水害慰問品

兵戦を交ふ

微戦は薄暮近くまで續き

士氣ます!

簡楽し鄭を当戦せんとする僧ևを一般は座径立くまで交はされた、か明や時、首坪附立に頭面に陣地を一が設せられ帰憶讓々天地を包外線

砂け剤々に異似を来」も突射度勢な増加主力に衝突、震」早々から好人点を呼んである 延縮地に第三日を測した層量の気配を選けて関連するう。 – とする同世場の登業方針は暗 日、第十九帥関係。 やがて北東の猛攻は効を奏し配照しし「新いた品を歴慣に」をモッ

孫に肚烈な攻防戦を一つた音麗部隊は経々懸気が即

た例立水産減減因分国は七

至西本本居水產的長列間

城支職長大塚関韓氏は高月天郡及【四連】北難戒然中の三井物産京

を入れてみたいと思ひます。
併行して益々積極的に北部に
井物能としてもこれ
罪の問う

気が見受けられました、介後

新方針の樹立が先決問題

射鮮の鐵鑛開發につい

成算盤がごれぬ

各署の名譽をかけ 見つまる熱戦

劍道は春川柔道は淮陽優勝 江原道の武道大會

人権から道総制開発・孫文が長以一ついで開九牌から通ぎ長で武長光(十の少年組を加へて柔飆道とも自指院院師記載道文部では何日午前(十六名、同浦院域四名の冠魂奈仁(蔵門用道から各師範の来援あり五名同日大日本 (四年)、外「同時」(他議議が東列艦の下に極勝等に転り大陸の用艦した、今年は様に京に重角)五日からの営っ古以下が下名はず・蘇渓路長・消の紅渓モの(る戦かに続け、月間き慣例の武道

調査は愈よ削削戦を四姓減與を進

符信中

一七四脚隊は北川出方に本部を置き

三七旅團の戰線も

戦機いよく 熟す

新總督の意を體

雌進咸化に拍車

知事會議の模様につい

単は三月夜から周月にかけて徴した歩兵七四壁隊を下力をする一

延吉魚染市

【延言】北湖産業館町の傍系とし

外事課の新

「異事」成本道の外事談可認は一 では認識その他の紹令日から質励される意定で認識の棚。とになつた

大蔵智後となり、五日頃なら この水田子 絕對全責任付、不向返金品替自由 大産ー大販ー市價の半値

注資訊 內地子人對。 西京大学岛台 注資館 內地子人對。 西京大士協 大学岛台

が、ガーディンは関連されて 上海区を、上海区を、大海 データを、東海野ノア タステトナギヤ スタントナギヤ スタントナギヤ スタントナギヤ スタントナギヤ スタントナギャ スタントナギャ 鬼三枚底―總革學生靴 四十五四三

呈進本萬五筆年萬の圓

市

流行尖端 先エナメル 総革フレンチ型本品(解語)は日本品(解語)は日本品(解語)は日本品(解語)は 上大爆發的 鬼三枚編上副 足五十鐵高....

高級紳士 (最新インキ吸入式、一ク年以上使用シ界ル英年等)靴 一足に定價 一圓の萬年 華一本宛進量 體服用 大景品付 總革靴

羅風叫 [羅索]

位保证品底皮牛都等上饭 女學生總革靴 ゼルメナエ映的先行ンタオ 会十五回四 祉型 短

以等東國(計略) 五些確由

显一人大 星一人小

錢十五圓三 貸十七圓二 登十三圓二

女學生 一 靴 超十五四一 足一

筆年萬に足

| 関数同法院

會語 金城商會:販賣配

(北鮮日報計長) 支局來訪者任挨拶

郷のため一日本計州郡社會主事)京

全議員熱誠を披瀝して

つの復興案を可決

大邱官廳對

抗野球戦

調査の上母樹林をも指定

源内版して自由くなるものとし事になりますからお門の用来を が、これらは非常に急致、失敗の知き相群効力の姿といもの

(質が、酸味をもつ泉質、瓜製から似くられてゐる後り、 活しを

子。例へば昆布の然田市や見

慶北の

都承知の遊りこれらは安弘には

んが、効果が大陸まどろしく、 **列類に効果があるとされてみま** ひか、赤は林城やレモン州を展

二羽鴉の私が

日の細かい色白に

ームをお送り「ら事が出来ました。その上次出物

キビは消えて色白に脂質はサツパリと

のニャピも大脚 たは観転行ら舞器学々お願ひ笠 高路壁、反紅百貨店基準各テメーしてからはあの 南部手数でせらが小脚一ケお窓 り、何時も美田な肥を保力事が出してからはある カードさい、代金は死日類ぎにてお 來ます。この フレオンが取りりてなく これらの悩みを未然に妨い事にない、「してませ、大川・佐藤女子」との悩みを終済するはかりでなく す。まつたくの歌のな脳と微楽中 キン、暗線、越帯小戦や自労後ななる事が出来ました。
・た使用目前観いいに動色がと 歌が御楽ました。
・た使用目前観いいに動色がと 歌が御楽形になる形は以上の謝吹 まれてゐるションが観クリームを なる事が出来ました。

に消えて艶々と ンバカスが

となってあますが、特近所にが歴史されてゐますが、特近所に

- の発展本支配度が少数の機関店

品不足の場合や直接細胞文権限の にも常に新能で処力の大なるもの

胃藥 島原登美子

慶北郡屬 虹置 一郡一島

川商議部會 個調查協議

)活用御獎勵

宮様のお眼にとまつた光榮の影池

上龍知事すつか

り恐縮

何か良い藁は? 色黑と脂質に

がてみましたが、一向に効果 主義の仕事の除収をみては此 温と聞い時間に日毎後まされ が明ですが生れつ しての確認が最も言しうこざいます。これもます。そこで最後においめするものは外形と 曹通の確衡ではなく活性コロイド状態の確衡 げる事は極めて困難であると存じ す。ですから貴女の様な御坂路で囲まにな その上担情手載がかかるころみがころいま 方はこれによって歌師の歌見をあ

くなりますから確認のもつば自己教師、収録のくなりますから確認のもつば自己教師、収録のは世間がなっています。確認が回れていません。 度完全なる活性状態のコロイド研省が出る統領 版でありますが、率。

遊竹が門底板の象域に流状態に保存するのに僕めて四域である事が映 作用を遺憾なく随かし影響地としては理想的 も明朝に借む方には絶好の美容料としており に仕組まてるますから異女の際に他が配く併 なものであります。民間質を活動のコロイド こてのまずレオン殊政ノリームは使用の部 【レオン美辉相談部】

女の様な質問は度々受けますが

暗的の思い人からずればだもな かありましたら敬べて下さい。 よいのですが、少しが危敵でも、すき諸る程でなくても人並の

殿と唯しますとない概を、さい時ちだと存じます。お恋ねの色

飲息では、砒素、外の残として



一個お送り下さいませ。母も動脂りましたから、すぐ代別にて小観 て朝館労を翻討文まで、かしら くと唯しておりますから私が代つ してゐますが大脳色が白くなりま したのでよろこんで聞さんに宜し 前脚の三氏がこの際にレオン院

もで。先日は早一に脱目も細かくなり大陸色白くな

岐阜版 日比野みね子

ン株蔵グリーム ても白くなり家人まで続いてあまた。 野智略の事と辞 なる事が出来ました。 いまして誠に有しす。まつたく自動のお聴と感謝申 |防御の情々線||うすらいで来てせいくした頭に| 佐賀縣 高 田 忠 美 用された単態的の張力な美白素ではしめてレオン形配クリームに 部の強認な効力を終すので観聴

月から際のレオー報申し上げます。 思へ丁目株式育社レオン商會(最 方は砂質元、東京市碑田區小川町

アベカスまでも「使用して磨ります。殴りかなだな」に殴り代金引換の御託文も観つていたます。今後も前受用して一扇跳を割日 に殴り代金引換の御託文も観つて、の内域のからない。 一般のではない はいかい かんしょう かんしょう しゅうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう かんしょう

(可認物便郵酬三第)

强く丈夫な子にする





く續が熱微 いなが慾食 くかを汗ね いなが氣元 い悪が色血

充實 C 絕 好 \bigcirc 秋

て榮養の増進……あらゆる强壯法を講ずる上に、秋ほごよい季節はありません。 弱い子を健康兒にするには、今が一番よい機です。日光、新鮮な空氣、運動そし

胃腸さへ丈夫であれば、 牛乳・卵・肉類その他何を食べてもよく身につきま つてもよいほど、胃腸のハタラキが弱つてゐます。 ミンの如き強壮劑の力を藉るべきでせる。 すが、胃腸に放障のある場合には、 やはり多數小見科醫の推變さる、ポリタ

な症狀をもつた結核性体質(腺病質)の子は、

虚弱見の强壯劑は、 これまで虚弱兒の强肚劑は肝油萬能でしたが、近時之が濫用に鑑み一部學者に 胃腸にも効く アミノ酸製劑 が最上!

よつてしきりに弊害論が唱へられてゐます。三云ふのは、

こころが蛋白質はアミノ酸にまで消化されなければ絶對に吸收されないので蛋 殊に血肉構成を第一ミすべき小兒期の栄養ミしては蛋白質が大切なものです。 へて屢々食慾や消化を書する缺点があるからです。 白質よりも、その消化体アミノ酸の方が遙に効果的なわけです。

たもので…血液原、体重増加素、 酸育素、活力素、 食慾催進素 ポリタミンは、 牛乳蛋白を胃傷消化を同じやうに酵素消化をし

ホルモン合成素等各種アミノ酸を豊富に含有します。 従って…

を盛んにし、食慾を増進し、抵抗力を强め、或は腦神經の更に、アミノ酸獨特の体細胞賦活作用によつて、新陳代謝 消化の煩みなく胃弱の子にもよく吸收されて、体重を増し **榮養をたかめ、かくて身心を眞に强く丈夫にします。** 發育を促します。 甘美味の液劑 小煎(|圓玉) 中煎(三圓玉)) 大瓶(四圓玉)) 全國標店

新子「弱い子をもつ親達へ」 養魔元より 無代送呈



6 5 4 3 2 1 金銭がすっんできた 頭痛がしなくなつた は体質がするとなった 盗行をかっなくなつた熟睡するやうになつた

家 庭 Ø 報 告

を発うしなくなった 元気活躍になった 落ちついてきた 缺席が少くなった 學家成績がよくなつ

各小學校の 使用成績いよられ 校 Ø 報 쐄

店商衛兵長田武 就能 可修道區東市阪大 元賣發 社會式株藥製五大 通上網區川流東市阪大 元 造 製 店商衛兵新西小藍線 町本區橋本田市京東 店理代東圖

八日間、遂に賣上高新記錄

百三十二萬六千圓を突破す

丁三日午後六時から

る終走競ン

語二代

∗社

■ 人造 大理 石 上業界の革命見現る 上業界の革命見現る

の ルイタ石理大)の來從 品 想 理 玉 補 を 點 欲



買並金融

社債引受募集

監督員採用

・ 公社債株式ノ

第九回鞘取會臘

保險證券擔保

入發 明遂 二 完 成二類無キ專賣特許,

西部議事政納部時間皆具の動作名程日本商業方は機能時間を見り動作名目を他の現立に来社相成だし時代に職員「おけた職人を要す京城が資金町」として、一一時、業まで自己

特別案内

本町二丁目間県支店処理(入る)松本町二丁目間県支店処理(入る)松本町県政権町

経が期、安全有利のクチ湾、利札落實行のクチ湾、利札落實行の

一利風田步襲接五順 8 リ 信券擔保貸付

债券現物賣買

仕庸四當、**賣實共大勉弱**

無料デ調ベマス骨券當籤ノ有無ヲ

雅 犬 要是個大及其大體

雅本三三二都 柳 閻 曾丁子屋间 明治明人口

電話門所語

岩井病院

川府山手町三丁目

查

大猫共通一般家族関係のに関す。優元町二人大海共通一般家族に大橋縣の島のに関す。優元町二人九六のに大橋縣の島のに関す。

が表記が

※ 京日案内

◎ミツワ人参錠 で若返らうよ。元氣に

120

ざれきのもきでどけや虫水切一づき 房樂馬一井中 町気原物夫 青春春春

美塊水子

京城

熟却**コムラ病**院

